

図画工作科学習指導案

平成16年10月26日(火)
第4校時 (於: 図工室)
6年2組 指導者 新島 英幸

題材名 「ぞうけいずかん」心をつなぐモノやカタチ

考察

1 児童の実態(6年2組 男子17名 女子14名 計31名)

美術館に行ってみると、高齢者の方が多く見られ、子どもたちの姿をあまり見かけない、本学級の子どもについても同じことが言え、「友達やお家の人と美術館に作品を見に行ったことがありますか。」のアンケートに対して行ったことのある子どもは31人中5人だけだった。しかし、「美術館や公園にある絵や彫刻などの作品を見たいと思いますか。」の問いに対しては24人の子どもが見てみたいと答えた。また、「友達の作品や美術館などの作品を見たりすることは、自分の作品をつくる時の参考になりますか。」の問いに対しては29人の子どもが参考になると答えた。子どもたちは作品を見たいという欲求があり、作品を鑑賞することの大切さを認識しているが、美術館が近くになかったり、親が関心があるかないかによって左右され、実際のところ鑑賞の機会がほとんどないのが現状である。また、「芸術作品(人が描いたり、つくったり、デザインしたりしたもの)にはどんなものがありますか。」の問いに対しては、教科書や絵はがきにでてくる、ゴッホやピカソなどの作品を挙げる子どもはいるが、建築物や文房具などの「暮らしの中の作品」に注目した子どもは5人だけだった。子どもたちは、芸術作品に対して、ゴッホやピカソといった認識しかなく、身の回りにある文房具や建築物など「暮らしの中の作品」を人が思いをこめてつくった芸術作品であるという認識をもっていない子どもがほとんどであることが分かった。

そこで、独立した鑑賞指導として、子どもたちに鑑賞の楽しさを味わわせるのによい題材はないかと考え、「暮らしの中の作品」に視点をあててみた。

2 題材の考察

子どもたちは、テレビなどのコマーシャルで、様々にデザインされた電化製品や車、携帯電話を見たり、デパートに買物に行っても、街を歩いているだけでも様々な造形作品やデザインに囲まれ、洋服一つ選ぶにしても自分の価値観で判断しなければならない。そのため、自分の価値観に合ったものを的確に選択することができることはこの時代を生きていく上で大変重要になってくる。また、自分らしさを見出すことは、他者を理解し、多様な美を認めることへもつながる。自己表現ができる楽しさを味わい、自分とは違う美を認め、生きる力が身につくことこそ豊かな情操がはぐくまれていく。豊かな情操をはぐくみ、生涯学習として美術に親しむためにも鑑賞する楽しさを味わうことは大変重要になってくる。

作品鑑賞を楽しむ場として、美術館は、具象的な絵画や抽象的な現代作品や美術館独自の企画など、多種多様な作品があり、子どもたちが、多様な表現に触れ、感動し、鑑賞の楽しさを味わうのに適している。しかし、児童の実態から分かる通り、作品を見たい欲求はあるが、美術館が近くにないなどの理由で、ほとんどの子どもが鑑賞の楽しさを十分に味わえていない。「暮らしの中の作品」には、色、形、素材、機能性など、美術館にある作品に負けないくらい様々な造形要素をもった作品がある。「暮らしの中の作品」を鑑賞することによって、デザイナーや作者の思いを感じ取ったりすることができる。

子どもたちは「暮らしの中の作品」を選び、そのよさや美しさを調べる活動をすることによ

って作品の多様な面白さに気づき、探求心を刺激され、普段何気なく使っていてあまり関心をもたなかった身近なものにも関心をもつようになる。そして、そのよさや美しさを追求することによって、作者の表現意図をとらえ、普段何気なく使っているものでも、作者が思いをこめてつくったものであるということに気づき、見方や感じ方を深めることができる。それは、作品鑑賞の仕方を理解する上での基礎となる。そして、作品のもつよさや美しさに触れ、鑑賞する楽しさを味わえるのではないかと考えられる。

3 題材の系統性

4年

・「たしかめながら」
 ・「きょうかしよびじゅつかん」(アートはともだち)
 ・美術を親しみをもってみる。
 (感じたこと思ったことを話し合いながら)

5年

・「自信をもって」
 ・「きょうかしよびじゅつかん」(みんなの夢が彫刻になったよ)
 (あれれ!不思議だな?)
 ・形やアイデア、表現意図や特徴をとらえながらみる。(表現の面白い作品を鑑賞し、よさや美しさを話し合いながら)

6年

・「思いを広げて」
 ・「きょうかしよびじゅつかん」(みんなともだち)
 (くらべてみると)
 ・「名画の中に入ってみたら」
 ・我が国や諸外国の作品や「暮らしの中の作品」のよさや美しさ、表現の意図をとらえながらみる。(写真や絵画を比較したり、暮らしの中の作品を造形要素と関連させて、よさや美しさを分析したりしながら)

4 指導方針

・導入時に、「暮らしの中の作品」について、興味・関心をもって取り組めるように、今まで何気なく見ていたり、使っていたりしていた身近なものに、気がつかなかったよさ、美しさ、面白さを提示してあげて、子どもたちに驚きを与える。

(1) 調べる過程では

・文房具や服を購入する時にどんな点を基準にして選んでいるか、通学途中に不思議だな、面白いなと思った建物や看板などがなくないかなど、日常生活の中で具体的に想定しやすいような言葉がけを行う。

・調べたい題材を思いつかない子や、より思いを広げるために、子どもたちの発表を聞きながら、黒板に書き、対話をしながら見つけていく。

・共通の題材を調べる子同士でグループになり、グループ編成に際しては偏りのないように4~6人のグループになるように配慮する。

・ワークシートを使い学習の流れが分かるようにする。

・「暮らしの中の作品」を写真に撮ったりスケッチをしたり、いろいろな角度から観察し、資料を集める作業を十分に行い、カメラ、ビデオなども活用する。

・色、形、材質、機能性などの造形要素からキーワードとなるものを見つけられるようにする。

・校外にでる班については学習ボランティアに協力をたのみ、安全面に十分に配慮する。

(2) 追究する場面では

・どんな点がよいか、どんな点が美しいか、なぜその形にしないではないのかなど疑問に思ったことを、友達との活発な意見交換を促す。

・製造した会社に聞くなど外部に協力を求める時には、電話番号、ホームページのアドレスなど調べ、あらかじめ連絡をとっておく。

・発表には、写真、イラストなどを使い分かりやすくするための工夫を心がけさせる。

・友達の発表を聞いての新たな発見や驚きをワークシートに書かせ、見方や感じ方を深められるようにする。

目標 「暮らしの中の作品」のよさや美しさを調べ、多様な作品の面白さに気づき、作者の表現意図や特徴などを追究し、見方や感じ方を深める。

評価規準

1 題名及び題材の内容 (報告書参照)

2 評価規準 (報告書参照)

3 指導と評価の計画

過程	見直し	時間	ねらい ・主な学習活動	支援及び指導上の 留意点	評価規準及び評価方法	
					関心・意欲・態度	鑑賞の能力
調べる	1	1	<p>本時のめあてをつかむ。</p> <p>・形やデザインが面白いと思う身の回りのものを思い起こし、意見を出し合う。</p> <p>・自分が一番調べて見たいと思うものを選ぶ。</p> <p>・同じ思いの子同士でグループになる。</p> <p>・調べる対象、調べの方法を考えて、鑑賞計画を立てる。</p>	<p>・文房具や服を購入する時にどんな点を基準にして選んでいるか、通学途中に不思議だな、面白いなどと思った建物や看板などがなく具体的思い起こす。</p> <p>・子どもたちの発表を聞きながら、黒板に書き、思いを広げさせる。</p> <p>・グループに偏りのないように4～6人のグループになるように配慮する。</p> <p>・ワークシートを使い学習の流れが分かるようにする。</p>	<p>「暮らしの中の作品」のよさや美しさに興味・関心をもつ。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <p>・思いをめぐらせながら Aへの支援</p> <p>・身近にあるもので、日ごろ、興味・関心をもっているものを自由な発想で考えられるよう支援したい。</p> <p>・ Bへの支援</p> <p>・思いを聞き取りながら取り上げ、意欲づけを図りたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・友達の発表を板書して、具体的な言葉にしやすいようにする。</p> <p>・個別に声をかけ、会話をしながら作品のよさ、美しさ、面白さについて関心を聞き取り、意欲づけを図る。</p>	<p>「暮らしの中の作品」のよさや美しさを思い起こせる。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <p>・いろいろと Aへの支援</p> <p>・身近にあるもので、日ごろ、興味・関心をもっているものをできるだけ多く取り上げさせたい。</p> <p>・ Bへの支援</p> <p>・思いを聞き取りながら、のびのびとワークシートに書かせたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・個別に声をかけ、身近なもので面白さをもったものを具体的に示し、関心をもった点や、作品の好きなどころ、気に入ったところなどを聞き取りながら、具体的な言葉にしていく。</p>
			<p>デザインされた身近な造形作品のよさや美しさに気づく。</p> <p>・調べたいデザインされた身近な造形作品を観察しながら、「面白い、かわいい、かっこいい」など、感じたことを出し合う。</p> <p>・なぜ、面白いのか、かわいいのかなど話し合いながら分析する。</p> <p>・話合いで分かったことの中から、追究するためのキーワード(色、形、使いやすさなど)を見つける。</p>	<p>・子どもたちのつぶやきや感動を的確に取り上げ、意欲づけを図る。</p> <p>・今まで見過ごしてしまっていた、デザインされた身近な造形作品のよさや美しさが、色、形、材質、機能性などの造形要素と関連していることに気づけるような言葉がけをする。(なぜ、面白いと感じたの、なぜ、かわいいと思ったのなど)</p> <p>ワークシートを使い学習の流れが分かるようにする。</p>	<p>「暮らしの中の作品」のよさや美しさに関心をもって見ようとする。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <p>・仮説を立てながら Aへの支援</p> <p>・つぶやきや発言を生かし、班の中心となって意欲的に活動させたい。</p> <p>・ Bへの支援</p> <p>・見つけたよさや美しさを認めて、探求心を刺激しながら、意欲的に活動させたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・個別に声をかけ、具体的な言葉がけを行いながら意欲づけを図る。</p> <p>・意図的に意見を取り上げ、グループの中での自分の役割を明確にし、意欲づけを図る。(つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想)</p>	<p>「暮らしの中の作品」の様々な表現方法を見て、そのよさや美しさを見つけることができる。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <p>・造形要素と関連づけながら Aへの支援</p> <p>・班で追究するための方向性を定めるような発言を導きだしたい。</p> <p>・ Bへの支援</p> <p>・素直な発想を生かし、色、形、材質、機能性などとの関連に気づかせたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて</p> <p>・個別に声をかけ、会話をしながら、色を見てどう思ったか、形を見てどう思ったか、など具体的な言葉がけを行う。</p> <p>(つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想)</p>

追究する	2	1	<p>作者の表現意図や作品の特徴を知り、見方や感じ方を深めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけたキーワードをもとに、グループで意見交換をし、解決できない場合はどうしたらいいか、解決方法を考える。 ・自分たちのグループで考えた解決方法にそって、インターネット、書籍、取材などによって作品のよさや美しさ、作者の表現意図を探っていく。 <p>・作者の表現意図や作品の特徴を探るための子どもたちが考えた方法を予想し、追究しやすい環境を整えておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分かったこと 新たな疑問 分かったことを繰り返し、自分なりの見解がもてるように支援する。 <p><予想される方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室で調べる。 ・インターネットで調べる。 ・製造した会社に聞く。 ・作者に聞く。 ・取材に行く。など ・製造した会社に聞く時には、教師は電話番号、ホームページのアドレスなどあらかじめ用意しておく。 ・オブジェを制作した作者に聞く時には、事前に連絡をとっておく。 	<p>作者の表現意図や特徴を追究しようとする。</p> <p>進んで意見交換し、協力して発表しようとする。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詳しく <p>Aへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな発見をする楽しさを味わわせながら活動させたい。 <p>Bへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな発見、驚きなどから、鑑賞の楽しさを味わわせながら活動させたい。 <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に声をかけ、具体的な方法や資料を提示して、意欲づけを図る。 <p>(つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想)</p>	<p>作品のもつ多様な面白さ、作者の表現意図や特徴などをいくつかの方法で追究し、見方や感じ方を深めることができる。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な方法で ・友達の意見を聞いて、自分の考えを深める。 <p>Aへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かったことをまとめ、ながら作者の表現意図や作品の特徴をいろいろな方法で追究し作者の思いを感じ取らせたい。 <p>Bへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べて分かったことをまとめ、新たな発見、驚きなどから鑑賞する視点を見つけながら、作者の思いを感じ取らせたい。 <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に声をかけ、会話をしながら、調べたことを具体的な言葉にしていき、ワークシートに書くよう支援する。 <p>(つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想)</p>
		2	2	<p>新たな発見や驚きを共有し、見方・感じ方を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで調べたことをまとめ、発表する。 ・他のグループの発表を聞き、見方、感じ方を広げる。 ・感想、自己評価カードを書く。 <p>・資料は、写真、イラストなどを使い分かりやすい工夫を心がけさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を聞いての、新たな発見や驚きをワークシートにメモさせる。 	<p>自分たちのグループの発表や友達の発表を聞き、新たな発見、驚きを共有しようとする。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心となって <p>Aへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を聞き、新たな発見や驚きを共有しながら意欲づけを図る。 <p>Bへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の発表を聞き、様々な鑑賞の視点を知り、新たな発見や驚きを共有しながら意欲づけを図る。 <p>努力を要する児童への手だて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別に声をかけ、どんなところに着目して聞けばいいか示し、意欲づけを図る。 <p>(つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想)</p>

本時の学習 (2 / 5 時間)

- 1 ねらい 身近にある造形作品に目を向け、今まで見過ごしてしまっていた作品の多様な面白さに気づき、「暮らしの中の作品」に関心をもつ

- 2 準備 教師 ワークシート
 児童 調べるための資料、調べる対象物（実物）
- 3 展開

過程	時間	ねらい 主な学習活動	指導・支援の工夫	評価の規準（評価方法）	
				関心・意欲・態度	鑑賞の能力
導入	5	<p>本時のめあてを知る。 ・調べる対象を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><調べる対象> ・クリップ ・亀の子たわし ・十二単 ・時計 ・カド消し、 デル消し ・民族衣装 ・さざえ堂</p> </div>	<p>・各班ごとに、調べるための資料を事前に集めておく。</p>		
展開	35	<p>「暮らしの中の作品」のよさや美しさを見つけ、関心をもって見る。 ・よさや美しさ、デザインの面白さなど、感じたことを出し合う。 ・見つけたよさや美しさ、デザインの面白さなどからキーワードを見つける。 ・キーワードをもとに、グループで意見交換をしながら追究するテーマを決める。 ・予想されるキーワード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・色 ・形 ・素材、材料 ・使いやすさ</p> </div>	<p>・観察したり、写真を撮ったり、スケッチをしたり、資料を集めたりして、多方面から調べられるようにする。 ・キーワードは（色、形、使いやすさなど）、どこから、その物のもつよさや美しさが伝わってくるかわかるものにする。 ・ワークシートを使い学習の流れがわかるようにする。 ・意見交換は班長を決めて行い、単なる見るだけで終わらないように課題意識をもたせ、自分の言葉で言えるようにする。</p>	<p>「暮らしの中の作品」のよさや美しさに関心をもって見ようとする。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード ・仮説を立てながら Aへの支援 ・つぶやきや発言を生かし、班の中心となって意欲的に活動させたい。 Bへの支援 ・見つけたよさや美しさを認めて、探求心を刺激しながら、意欲的に活動させたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて ・個別に声をかけ、具体的な言葉がけを行いながら意欲づけを図る。 ・意図的に意見を取り上げ、グループの中での自分の役割を明確にし、意欲づけを図る。 （つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想）</p>	<p>「暮らしの中の作品」の様々な表現方法を見て、そのよさや美しさを見つけられることができる。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード ・造形要素と関連づけながら Aへの支援 ・班で追究するための方向性を定めるような発言を導きだしたい。 Bへの支援 ・素直な発想を生かし、色、形、材質、機能性などとの関連に気づかせたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて ・個別に声をかけ、会話をしながら、色を見てどう思ったか。形を見てどう思ったか。など具体的な言葉がけを行う。 （つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想）</p>
終末	5	<p>本時の学習を振り返り、次時の学習へのめあてをもつ。 ・本時の学習を振り返り、感想を書く。</p>	<p>・次時の学習について知らせる。</p>		<p>本時の学習の感想がかけ、次時の学習のめあてがもてる。</p>

本時の学習（3 / 5時間）

- 1 ねらい 「暮らしの中の作品」のよさや美しさを追求し、作者の表現意図や特徴をとらえ、見方や感じ方を深める。
- 2 準備 教師 ワークシート

児童 調べるための資料、調べる対象物（実物）

3 展開

過程	時間	ねらい 主な学習活動	指導・支援の工夫	評価の規準（評価方法）	
				関心・意欲・態度	鑑賞の能力
導入	5	<p>本時のめあてを知る。 ・調べるテーマを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><調べるテーマ> ・クリップの形の面白さはなぜ？ ・亀の子たわしの機能性の面白さはなぜ？ ・十二単の模様の美しさはなぜ？ ・十二単の配色の美しさはなぜ？ ・時計の形の面白さはなぜ？ ・カド消し、デル消しの形の面白さはなぜ？ ・民族衣装の美しさはなぜ？ ・さざえ堂の形の面白さはなぜ？</p> </div>	<p>・各班のテーマを書いて黒板にはりつけて、分かりやすいようにする。</p>	<p>。</p>	
		<p>テーマにそって作者の表現意図や特徴を追究し、見方や感じ方を深める。 ・前時に集めた資料や実物を観察してテーマにそって意見交換する。 ・意見交換で解決できないことを取り出し、課題を見つけ、解決のための手だてを考える。 ・予想される手だて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・インターネットで調べる。 ・図書室で調べる。 ・メーカーに質問する。 ・取材する。 など</p> </div>	<p>・意見交換は班長を中心に言い、自分の言葉で発表できるようにする。 ・単に見るだけで終わらないように自分の考えをワークシートに書き、課題意識をもたせる。 ・安易にインターネットや図書室にたよったりせず、調べる課題を明確にしてから、調べに行く。 ・調べたことは、資料としてまとめておき、いつでも使えるようにする。 ・メーカーに聞いたり、取材したりすることが予想される場合には、事前に連絡をとっておく。 ・観察 意見交換 調べ学習 観察 意見交換を繰り返して追究していく。 ・ワークシートを使い学習の流れがわかるようにする。</p>	<p>作者の表現意図や特徴を追究しようとする。 進んで意見交換し、協力して発表しようとする。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード ・詳しく</p> <p>Aへの支援 ・新たな発見をする楽しさを味わわせながら活動させたい。</p> <p>Bへの支援 ・新たな発見、驚きなどから、鑑賞の楽しさを味わわせながら活動させたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて ・個別に声をかけ、具体的な方法や資料を提示して、意欲づけを図る。</p> <p>（つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想）</p>	<p>作品のもつ多様な面白さ、作者の表現意図や特徴などをいくつかの方法で追究し、見方や感じ方を深めることができる。</p> <p>十分満足できる状況のキーワード ・いろいろな方法で ・友達の意見を聞いて、自分の考えを深める。</p> <p>Aへの支援 ・調べて分かったことをまとめながら作者の表現意図や作品の特徴をいろいろな方法で追究し、作者の思いを感じとらせたい。 Bへの支援 ・調べて分かったことをまとめ、新たな発見、驚きなどから鑑賞する視点を見つけながら、作者の思いを感じ取らせたい。</p> <p>努力を要する児童への手だて ・個別に声をかけ、会話をしながら、調べたことを具体的な言葉にしていき、ワークシートに書くよう支援する。</p> <p>（つぶやき、表情、発言、発表、ワークシート、感想）</p>
		<p>本時の学習を振り返り、次時の学習へのめあてをもつ。 ・本時の学習を振り返りワークシートに感想を書く。</p>	<p>・次時の学習について知らせる。</p>		<p>本時の学習の感想が書け、次時の学習のめあてがもてる。</p>
展開	35				
終末	5				

資料1

「心をつなぐモノやカタチ」

6年 組()

- 1 身の回りにあるものや、普段使っているもの、通学路の途中にある不思議だな、おもしろいなと思うものを見つけてみよう。

ものの名前	ものの名前
.	.
.	.
.	.
.	.
.	.

- 2 上に書いたものの中から、自分が一番調べてみたいものを選んでみよう。

--

- 3 友達と相談して、調べてみたいものが似ている人同士でグループになりましょう。
(4～6人)
- 4 調べる計画を立てよう。

日時 平成16年 月 日 引率()

場所
(地図)

--

どんなことをするか

--

資料2

「心をつなぐモノやカタチ」 発見カード

6年 組()

1 調べるもの

--

2 調べる方法

--

3 分かったこと

	どんな方法で分かったか

4 分かったことの中からキーワードを見つけて をつけて、したの に書きましょう。

--

--

--

--

--

--

--

--

--

「心をつなぐモノやカタチ」

6年 組〔

〕

テーマ 「クリップ」の形のおもしろさはなぜ？

司会（班長）

- 1 班長は一人ずつ、なぜ？なのか意見を言ってもらおう。
- 2 話合いで分かったことと分からなかったことを書き出す。
- 3 分からなかったことを調べる方法を見つける。
調べる方法が見つかったら実行する。

書記

- 1 大切な発言です。一言ももらさずに書きましょう。

1 自分の思ったことや考えを発表しましょう。（必ず一人一言は言いましょう！）

発言者	発言内容

2 話合いで分かったことを書き出しましょう。（みんなで相談して書きましょう！）

【まとめの時に使いますのでしっかりと書きましょう！】

番号	分かったこと